

「オアシスの森勉強会(自治会主催)」議事メモ

開催: 令和4年(2022)6月26日 10:00~12:00 場所: 藤巻町集会所

1. 会長挨拶・趣旨説明

1. 藤巻町都市計画(東山公園予定地指定)の経緯
2. 「長期未整備公園緑地の都市計画見直し方針と整備プログラム(第2次)」
3. 「借地対応区域」で「オアシスの森づくり検討会」予定(R4年9月~R5年1月)
本日は、それに先立って「オアシスの森勉強会」(自治会主催)を開催
4. 藤巻町アンケート結果と自治会の対応方針:
「オアシスの森づくり事業」本来の検討と「藤巻町固有のまちづくり課題解決」のための検討とは分離して名古屋市と協議する。→「アンケートの要約図」
5. 本日の会議司会進行は、名古屋市から派遣頂いた
藤森アドバイザーにお願いしています。

【出席者】

<自治会> 池田会長、川村副会長。宮川副会長、黒澤副会長、岡田会計監査。岩瀬会計、委員4名

<組長> ほぼ全員(10名)

<一般会員> 約3名

(総計23人)

<市役所>

緑地事業課 平泉係長、松永氏

住宅都市局ウォークブル・景観推進室 小川氏、

名古屋都市センター調査課 松井主事、

調査課(まちづくり支援)

清水主査

2. 藤巻町の経緯説明(池田会長)

藤巻町では上記第2項の「整備プログラム(第2次)」を名古屋市が制定準備中の時期に名古屋市まちづくり企画課のご支援・指導を得て「藤巻町まっづくり構想」を策定し名古屋市へ提案した。

その中で藤巻町の「森づくり」についての提案をしている。

今後、名古屋市の「オアシスの森づくり事業」に対して藤巻町自治会は名古屋市が主催する「オアシスの森検討会」の一員として参加し「藤巻町まちづくり構想」の考えを極力活かせるよう協力するつもりです。

町内道路の説明

私道問題

公園予定地内の道路は建築基準上の道路

3. 藤森氏の挨拶と説明

- ・ 長期未整備公園緑地の都市計画の歴史
- ・ 藤巻町のまちづくり構想提案

- ・整備プログラム（第2次）決定
 - ・まちづくり構想策定時の3大課題
 - ①道路、②水道（上下水道）③森と住環境の関係、私有地の問題
 - 「緑豊かな住環境」を守りたい
 - ・「オアシスの森づくり事業」の目的は名古屋市市民全体にとって憩いの森になるよう整備すること。
 - ・「インフラ改善」は「オアシスの森」づくりとは別問題
- 以上を理解した上で議論して下さい

4. 自治会の取り組み方針（池田会長）

- (A) 「オアシスの森検討回」に対しては一般市民と一緒に参加
- (B) 「藤巻町固有の課題」については別途に名古屋市との話し合いをする
- ・アンケートの意見紹介（池田会長）
 - 自治会によるアンケート要約資料により説明

5. 名古屋市からの説明（平泉係長）

スライドによる。

5-1 長期未整備公園緑地の経緯

都市計画公園指定：大正15年の指定（当時は含まれていなかった）、昭和15年現名大地区と交換の形で現天白町、藤巻町、山香町地区が変更指定された。昭和22年戦後復興都市計画の一環として再指定された

長期未整備公園緑地：市内28ヶ所あり藤巻・山香町はその一つ。

平成20年3月整備プログラム（第1次）

平成30年3月整備プログラム（第2次）

「樹林型緑地」は借地対応で樹林を保全する区域

（2038年以降で公園整備事業に着手予定となっている区域）

5-2 「オアシスの森」事業の基本方針

「借地対応区域」の中で「オアシスの森」事業によって樹林を保全すると共にこの段階で一般市民へ早期供用する

（パンフレットを参照）

藤巻・山香地区においては東山公園基本構想の中で東山動植物園再生プランを考慮しなければならない。その中で東山公園森づくり基本方針が有って藤巻・山香町地区は「いのちの森」という位置づけ（生物多様性を考慮しながら森を保全する）を考慮する必要がある。

なるべくこの計画を活かすようにすることを考えている。

5-3 具体的事例の説明：

緑地毎に地域の人で構成するボランティア団体を立ち上げて市と協議しながら整備・運営する、

(H10)相生山緑地(20.4ha)

- ・緑のパートナー「相生山緑地オアシスの森クラブ」が活動中
- ・竹林整備・植物紹介

(H13)猪高緑地(14.5ha)

- ・緑のパートナー「名東自然クラブ」が活動中
- ・棚田の管理・竹刈り体験会

(H22)細根公園緑地(7.3ha)

- ・地域の人を中心の「愛護会」が活動中
- ・竹刈り体験会

5-4 ボランティア団体と名古屋市との役割分担

オアシスの森で行う工事は「暫定整備」であり、踏み分け道の整備(元々から有る道を歩き易くする)、間伐材を利用したベンチの設置、案内板の設置など。遊具や照明設備等の恒久的施設は作らないのが大前提としている。

「オアシスの森づくり」は自然の地形を活かして市民の皆様(ボランティア)と名古屋市が協力して一緒に作ることを基本的な進め方である

(A) ボランティア団体の活動

一般市民の参加を呼びかけて竹林整備や棚田の運営などの体験会を開催したり、自然観察会、植物の紹介などのイベント開催して市民へのPRやイベントでのガイドなどのサービス提供を運営する。

(B) 名古屋市の担当は

資材の提供、間伐の支援などボランティアでは出来ない施設の修理などを担当する。

5-5. 今後のスケジュール

対象区域の選定：「借地対応区域」で地権者の同意を得た土地&名古屋市が取得済の公有地(トータル約20ha)。民有地(宅地を含む)約11ha、所有者270名。

令和4年度は「オアシスの森づくり検討会」を開催する。

その後、3~5年かけて「検討会」の結果に沿って「暫定整備」

を進める

「森づくり検討会」に参加した人の中から、その後の整備や維持管理にも協力してもらえることを期待している。

令和4年度「オアシスの森づくり検討会」日程（案）：

一般市民参加でどんな森にするか話し合っ来年度以降に実施する「暫定整備」の計画づくりをする。

第1回：令和4年9月・・・「オアシスの森づくり事業」の概要
（最新情報では10月1日） 説明&名古屋市計画素案提示
（アンケート意見も考慮した素案）

第2回：令和4年10月・・・実地調査。皆で森を歩いて検討。

第3回：令和4年11月・・・名古屋市の素案をブラッシュアップ

第4回：令和5年1月・・・以上の結果を反映して名古屋市計画
を提示して、R5年度以降の進め方
を協議する

5-6. 住民への配慮

藤巻・山香町地区では住民が居住している。

「オアシスの森」対象公園内に住民が居住している地域で「オアシスの森事業」をするのは初めてのケースです。

住民の皆様にも「オアシスの森検討会」に参加してご意見を頂いて皆で検討して行くつもりですので、協力お願いします。

また、住民になるべくご迷惑にならないように暫定整備の進め方としては対象区域全域で一斉着工ではなく、段階的に逐次展開するつもりです。

6. 意見交換（司会：藤森アドバイザー）

6-1（Q）H氏（12組）より口火コメントあり：

藤巻地区の特色を活かした計画が出来ることを期待したい。

（A）この地域は東山公園一万歩コースと接続できるという大きな特色があるので、うまく繋がるといいなと考えています。

6-2（Q）：9月の第1回検討会では具体的な叩き台となる計画が示されないと議論が進まないと思う。

（A）藤巻町のアンケートを考慮した素案を準備する予定。

6-3（Q）：「ボランティアの人」が整備や運営をするということだが、その人達にはどのような権限があるのか？

- (A) 「緑のパートナー」に認定される団体に相当の団体が出来ることがを期待している。
市の「緑のパートナー制度」では現在 20 数団体あり、計画を届け出て活動している。18 団体が市内で活動中。
- (Q) この地域は現在「東山の森づくりの会」の活動地になっているが、「オアシスの森」で活動することになる「ボランティア団体」とが円滑に活動できるよう、住み分けの調整が必要。
- (A) 了解。

6-4 (Q) : 「地域の人でボランティア団体を作って」整備・運営するということだが、藤巻町の住民には活動の中心になって当たる人材やマンパワーが無い。

- (A) 住民グループに全部をやってもらうという考えではない。
ボランティアグループに出来ることは管理作業全体の一部であって、大部分は土木事務所などが担当するので、機械を使う作業などボランティアに出来ないことは市がやる。藤巻町内の維持団体が全責任を負う必要はない。
ボランティアグループにはそれぞれのやれることをしてもらう。
ボランティア団体には一般市民への情報発信…こんな楽しいところがあるよ…やイベントの企画…体験会の企画や案内などサービス面を担当してもらう。

6-5 (Q) : 一般市民のボランティアが自発的に集まって来て、各々の考えで活動する方式では整備方針や維持管理方針が不統一になる。名古屋市組織の中で「ボランティア活動」の統括管理担当部門を明確にするべきではないか？

- (A) 猪高緑地の場合は得意分野や関心分野が異なる個別団体が次第に連合体の様に役割分担が決まり統制のとれる活動隊が出来た

(Q) 「オアシスの森検討会」には藤巻地区の公園管理担当部門である東山公園管理事務所が出席するべきではないか？

- (A) 名古屋市組織の担当としては、整備段階は緑地事業課、完成後の維持管理段階では東山公園管理事務所になる。
緑地事業課と公園管理事務所は情報連絡はしているので心配しないで下さい。

6-6 (Q) 「オアシスの森検討会」の参加募集の時期はいつごろですか？

- (A) 開催の約 1 ヶ月前の広報なごやで募集する。
藤巻町には別途案内する。

(Q) 藤巻町からの参加者は「住民」としてか「森づくりボランティア」としてか、立場の違いはどのように扱われるか？

(A) 特別に区別はせず、一市民としてご意見を伺います。

6-7 (Q) 全体の予算規模はどのくらいの想定ですか？

「検討会」で提案する内容と予算規模とのミスマッチを避けるための参考情報として、知りたい

(A) 予算は毎年度予算で決めるので、今は言えないし、この事業で何をするかの内容によるが、相生山緑地の場合は3～5年で約8千万円

整備時期は活動しやすい秋口から2～3月まで3～5年

6-8(Q) 藤巻・山香地区の「樹林地」は広範囲であるが、「オアシスの森」として「暫定整備」する区域のプランを示してほしい。

地域住民としては、保全を期待するスポットや整備又は住居への接近を避けてほしい区域などがあるので、名古屋市のプランの範囲を知らせてほしい

(A) 名古屋市から”たたき台”になるプランを提示するので、それに対して、追加・削除などの提案を検討することになる。

第1回検討会までに”たたき台プラン”を作る

以上